



Cisco 1100 ターミナルゲートウェイルータについて

Cisco 1100 ターミナルゲートウェイルータは、シスコのデバイスのコンソールポートへの非同期接続を提供するターミナルサーバーです。

表 1: Cisco 1100 ターミナルゲートウェイルータのベースモデル

基本モデル	非同期ポート	NIM スロット	スイッチ	メモリ
C1100TG-1N32A	32	○	なし	2 GB DRAM/4GB フラッシュ
C1100TG-1N24P32A	32	○	24 ポート L2 ス イッチ	4GB DRAM/4GB フラッシュ
C1100TGX-1N24P32A	32	○	24 ポート L2 ス イッチ	8GB DRAM/8GB フラッシュ

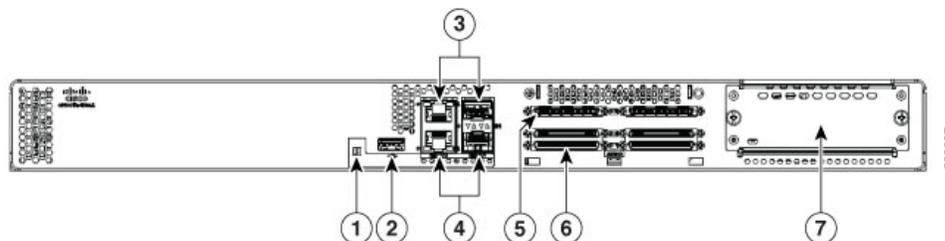
Cisco 1100 シリーズ ターミナルゲートウェイルータの機能と仕様の詳細については、Cisco 1100 ターミナルゲートウェイルータのデータシートを参照してください。

- [シャーシの外観 \(2 ページ\)](#)
- [LED インジケータ \(3 ページ\)](#)
- [電源モジュール \(5 ページ\)](#)
- [スロットとインターフェイス \(5 ページ\)](#)
- [ファン、通気、エアフロー \(8 ページ\)](#)
- [Cisco 1100 シリーズ サービス統合型ルータの仕様 \(9 ページ\)](#)
- [定期的な検査と清掃 \(9 ページ\)](#)

シャーシの外観

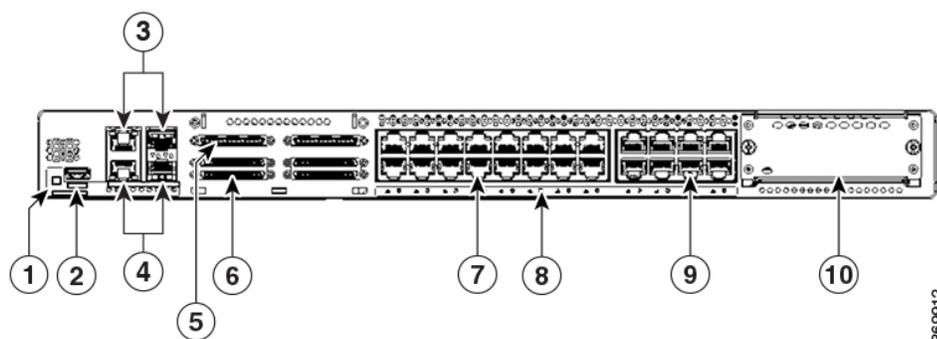
ここでは、Cisco 1100 ターミナルゲートウェイルータの前面パネルと背面パネルの外観を説明し、電源インターフェイスと信号インターフェイス、インターフェイススロット、ステータスインジケータ、シャーシ識別ラベルの位置を示します。

図 1: C1100TG-1N32A : I/O 図



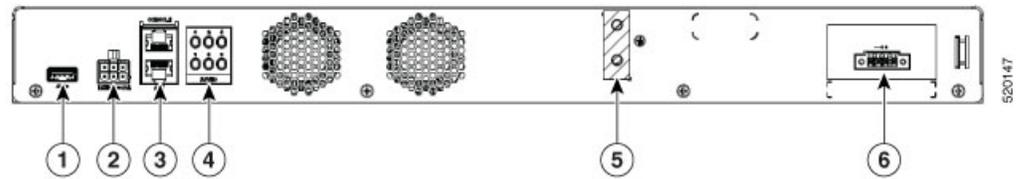
1	システム LED	2	USB 2.0
3	GE WAN 0/0/0 : RJ45/SFP	4	GE WAN 0/0/1 : RJ45/SFP
5	非同期 16 ポート	6	非同期 32 ポート
7	NIM		

図 2: C1100TG-1N24P32A および C1100GX-1N24P32A : I/O 図



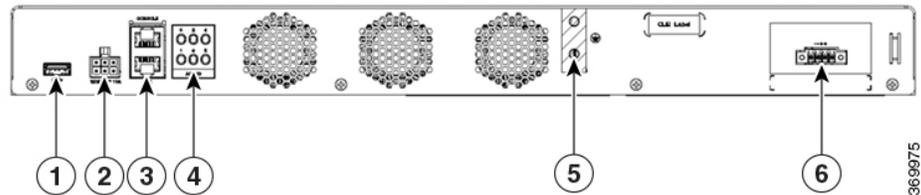
1	システム LED	2	USB 2.0
3	GE WAN 0/0/0 : RJ45/SFP	4	GE WAN 0/0/1 : RJ45/SFP
5	非同期 16 ポート	6	非同期 32 ポート
7	イーサネットスイッチ 0 ~ 15	8	イーサネットスイッチ LED 0 ~ 23
9	イーサネットスイッチ 16 ~ 23	10	NIM

図 3: C1100TG-1N32A : 背面図



1	USB 3.0	2	6 ピン電源コネクタ
3	RJ-45 コンソール、AUX	4	非同期 LED
5	アース接続	6	電源モジュール

図 4: C1100TG-1N24P32A および C1100TGX-1N24P32A : 背面図



1	USB 3.0	2	6 ピン電源コネクタ
3	RJ-45 コンソール、AUX	4	非同期 LED
5	アース接続	6	電源モジュール

LED インジケータ

次の図と表は、Cisco 1100 ターミナル ゲートウェイ ルータのシャーシにある LED インジケータをまとめたものです。

図 5: LED インジケータ : C1100TG-1N32A I/O 側

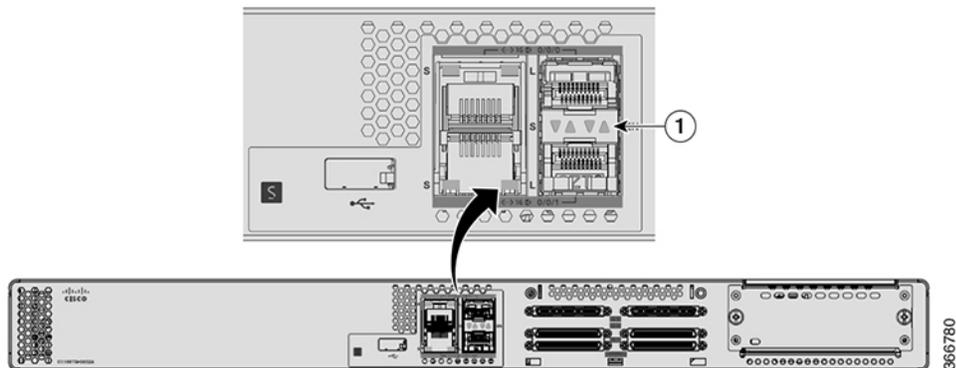


図 6: LED インジケータ : C1100TG-1N24P32A および C1100TGX-1N24P32A I/O 側

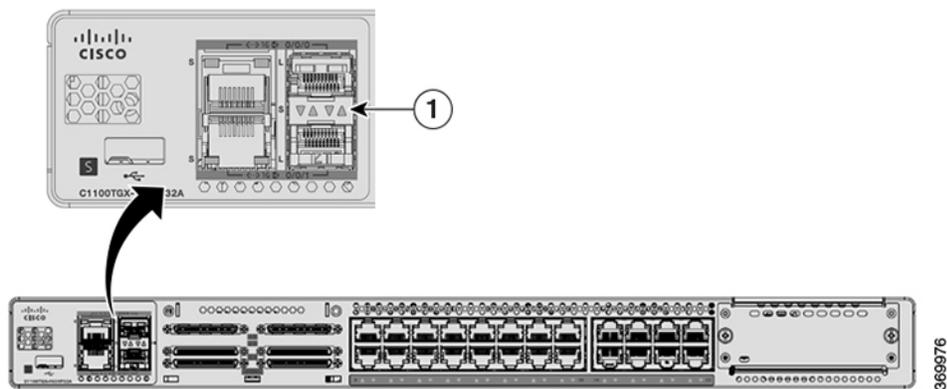


表 2: Cisco 1100 ターミナル ゲートウェイ ルータの LED インジケータ

ポート	LED カラー	説明	コントロールソース
システム LED	グリーンおよびオレンジ	消灯：システム電源がオフ	ベゼル側。すべてのモデル。
		緑色で点灯：システムが正常に動作	
		緑色で点滅：BIOS/ROMMON が起動中	
		オレンジ色で点灯：サーマルトリップ	
		オレンジ色で点滅：アラーム (セキュアブートの失敗)	

ポート	LED カラー	説明	コントロールソース
LAN ポートの LED	緑	消灯：リンクなし	ベゼル側
		点灯：リンク	
		点滅：データの TXD/RXD	
WAN ポートの LED	グリーンおよびオレンジ	緑色：SFP モジュールを検出	ベゼル側
		オレンジ色：SFP の未検出または障害	
非同期ポートの LED	グリーン	リンクが確立	背面側

電源モジュール

製品の電源仕様は次のとおりです。

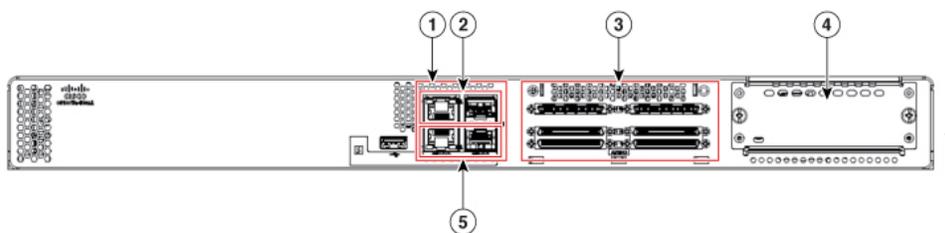
- AC 入力電圧：100 ～ 240 VAC、1.6 A、50 ～ 60 Hz
- DC 入力電圧：48 ～ 60 VDC または -48 ～ -60 VDC、4.2 A
- 外部電源オプション：100 ～ 240 VAC、50 ～ 60 Hz
- HVDC 電源：240 VDC、0.9 A

スロットとインターフェイス

スロット、サブスロット、およびポートの番号付けについて

次の図は、C1100TG-1N32A のスロットとサブスロットの番号付けを示しています。

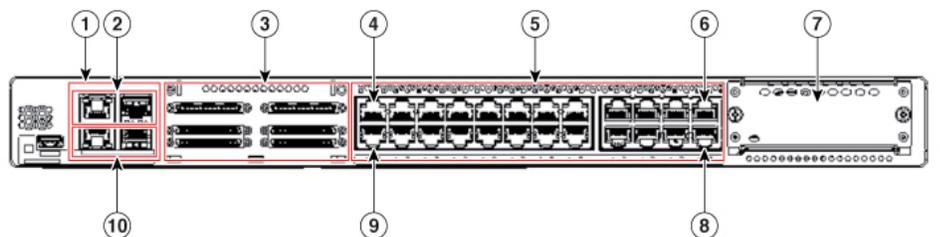
図 7: C1100TG-1N32A : スロットとサブスロット



1	スロット 0/0 前面パネル ギガビット イーサネット
---	-----------------------------

2	RJ45/SFP コンボ ギガビット イーサネット 0/0/0
3	スロット 0/1 オンボード非同期シリアル 1 = 0 ~ 7 2 = 8 ~ 15 3 = 16 ~ 23 4 = 24 ~ 31 5 = 32 ~ 39 6 = 40 ~ 47 非同期 0/1/0 ~ 非同期 0/1/47
4	スロット 0/2 NIM スロット
5	RJ45/SFP コンボ ギガビット イーサネット 0/0/1

図 8: C1100TG-1N24P32A および C1100TGX-1N24P32A : スロットとサブスロット



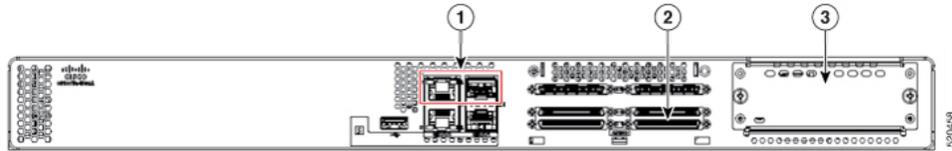
1	スロット 0/0 前面パネル ギガビット イーサネット
2	RJ45/SFP コンボ ギガビット イーサネット 0/0/0
3	スロット 0/1 オンボード非同期シリアル 1 = 0 ~ 7 2 = 8 ~ 15 3 = 16 ~ 23 4 = 24 ~ 31 5 = 32 ~ 39 6 = 40 ~ 47 非同期 0/1/0 ~ 非同期 0/1/47
4	LAN 0
5	スロット 0/2 オンボード L2 スイッチ ギガビット イーサネット 0/2/0 ~ ギガビット イーサネット 0/2/23

6	LAN 22
7	スロット 0/3 NIM スロット
8	LAN 23
9	LAN 1
10	RJ45/SFP コンボ ギガビット イーサネット 0/0/1

非同期回線の番号

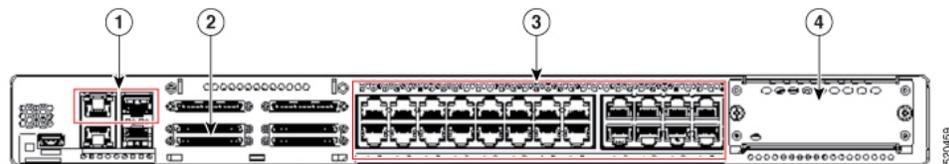
Cisco 1100 ターミナル ゲートウェイ ルータには、回線番号が 2 ～ 33 の 32 個のオンボード非同期ポートがあります。16 個の非同期ポートがあるオプションのドーターカードを Nanook ベースおよび Nanook+ に追加できます。ドーターカードの回線番号は 33 ～ 49 です。

図 9: C1100TG-1N32A : 回線番号



1	ギガビットイーサネット 0/0/0 ～ 0/0/1
2	非同期 0/1/0 ～ 非同期 0/1/47 0 = 2 ～ 9 1 = 10 ～ 17 2 = 18 ～ 25 3 = 26 ～ 33 4 = 34 ～ 41 5 = 42 ～ 49
3	NIM 0/2

図 10: C1100TG-1N24P32A および C1100TGX-1N24P32A : 回線番号



1	ギガビットイーサネット 0/0/0 ～ 0/0/1
---	---------------------------

2	非同期 0/1/0 ~ 非同期 0/1/47 0 = 2 ~ 9 1 = 10 ~ 17 2 = 18 ~ 25 3 = 26 ~ 33 4 = 34 ~ 41 5 = 42 ~ 49
3	ギガビットイーサネット 0/2/0 ~ 0/2/23
4	NIM 0/3

ファン、通気、エアフロー

ルータおよびシャーシの温度は、内部ファンによって調整されます。オンボードの温度センサーは、ファンの速度を制御します。ルータが電源オンの間はファンの電源も常時オンです。ほとんどの条件下では、ファンは最低速度で作動して、電力を節約するとともに雑音を軽減します。周囲温度が高い場合は、必要に応じて高速で動作します。

図 11: C1100TG-1N32A : エアフロー

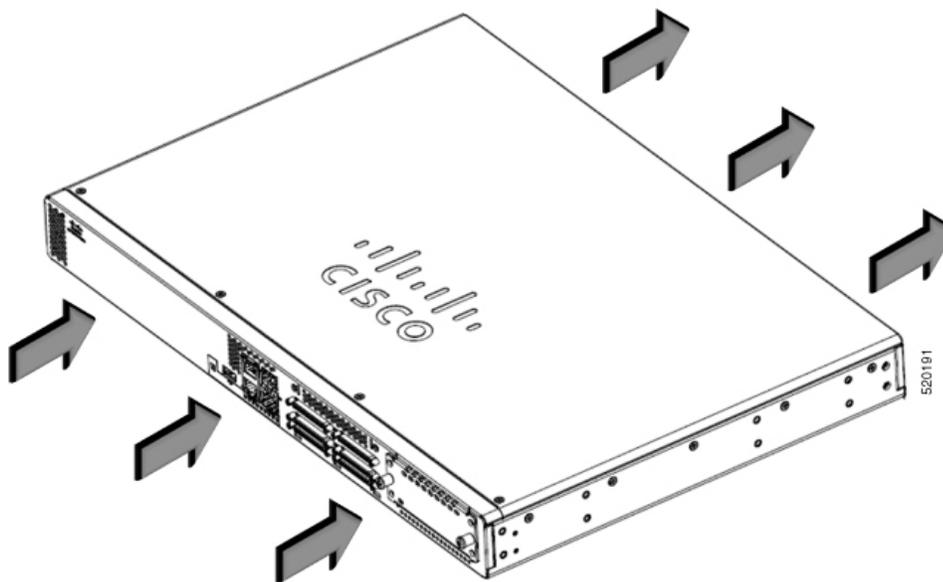
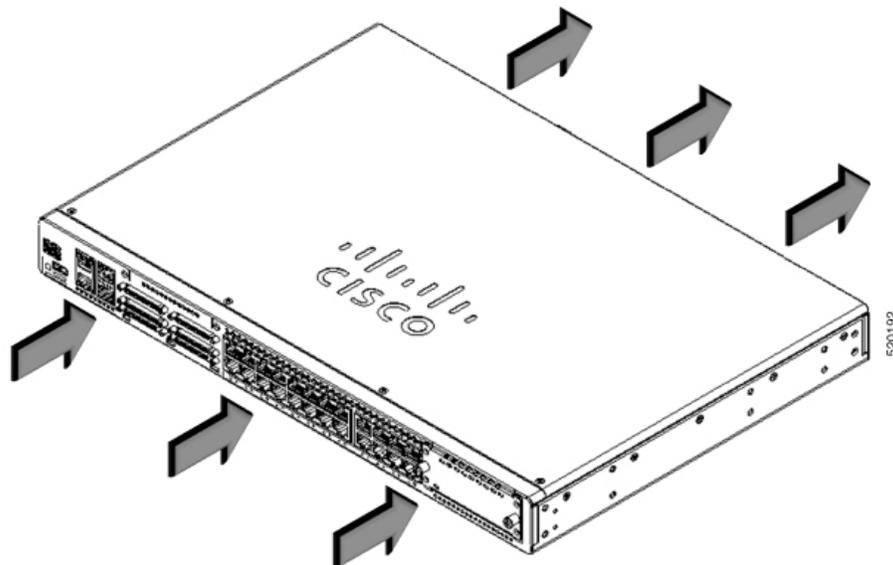


図 12: C1100TG-1N24P32A および C1100TGX-1N24P32A : エアークロー



Cisco 1100 シリーズ サービス統合型ルータの仕様

Cisco 1100 シリーズ ISR の仕様については、Cisco 1100 ターミナルゲートウェイ ルータの仕様に関するドキュメントを参照してください。

定期的な検査と清掃

周囲の埃や塵の悪影響を最小限に抑えるために、ルータの外面の定期的な検査と清掃を推奨します。検査と清掃の頻度は環境条件の厳しさによって変わりますが、最低でも6ヵ月に1回を推奨します。清掃時には、ルータの吸気口と排気口に掃除機をかけます。



(注) 室温が常時 25 °C (77 °F) を超える室温の場所、および埃や塵が大量になる可能性がある場所は、定期的に予防手段としての保守清掃を行う必要が出てくる可能性があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。